

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈9月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人 観光▷1人
起業型▷9人 協働型▷5人 スポーツ▷1人

起業型地域おこし協力隊

いざわ こうき
飯澤 公規さん

着任：令和7年4月(1年目)
出身：留萌市



—これまでの経歴について教えてください。

小学生の頃から洋服に興味を持ち、将来は服に携わる仕事をしたいと自然に思うようになりました。高校卒業後は札幌の服飾専門学校に進学し、デザインやパターン、縫製など幅広く学びました。卒業後は客として通っていたセレクトショップに就職し、販売員として約17年間働きました。接客販売のほか、商品の仕入れや予算管理、人材育成など、店舗運営の全般を担ってきました。

—厚真町に来たきっかけは？

サーフィンが趣味なので、十数年前から浜厚真海岸に通っていました。それ以前にも山菜採りや溪流釣りで訪れることも多く、厚真町は不思議と縁のある町でした。30歳を過ぎて独立を考え始め、札幌や東京での開業も検討しましたが、インターネット通販の普及やコロナ禍といったファッション業界の変遷を経験し、「都会にこだわる必要はない」という気持ちが強くなりました。せっかくであれば大好きな土地で開業したいと思い、厚真町が真っ先に浮かびました。

—どのような事業を始める予定ですか？

洋服を軸に、サーフィンやスノーボード、アウトドアなどライフスタイル全体を提案できるセレクトショップをつくりたいと考えています。都会のお店やインターネットでしか手に入らない商品も取りそろえ、商品の製造背景などもご案内しながら、実際に手に取って本当に気に入ったものが購入できるお店にしたいです。ファッションに興味のない方も、ちょっとしたプレゼントを探すなど、気軽に訪れてほしいと考えています。また、空港やフェリーターミナルに近いので、サーフィンやスノーボードで訪れた道外の方が立ち寄りやすい地の利を生かし、来町するきっかけになればうれしいですね。

—ローカルベンチャースクールに参加した感想は？

参加してよかったです。独立に向けて一人で考えていても、分からないことだらけでした。多方面の専門家からアドバイスをもらえたことで、課題も明確になり、自分がすべきことが分かりました。挑戦している仲間との出会いも刺激になりました。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報をはじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



発表します！
将来の夢

上厚真小学校6年



はるきさん



みのさん



ぎんしさん



しんのすけさん



ここあさん